

医療を通じて  
「地域で生きる」を  
支援する

お子さまの

# 予防接種について

小児科医長 堀江 昭好

2025年となり、春から入学・進学など新たな生活を送る方も多いと思います。新生活に向けての準備も忙しくなると思いますが、確認していただきたい事の一つに予防接種があります。お子さんの母子手帳には、どのワクチンを接種したか、接種日はいつだったか、どの医療機関で接種したかなどが記載されているページがあると思います。

ぜひ一度、小児科学会のHPに掲載されているワクチンスケジュールと見比べて、お子さんのワクチンが接種されているか確認してみてください。

新型コロナウイルスワクチンは皆さんの記憶に新しいと思いますが、予防接種も進歩が続いています。小児のワクチンに関しても、2024年には5種混合ワクチン、20価結合型肺炎球菌ワクチンなど新しいワクチンが使用できるようになりました。予防接種は「各種の病原体に対して免疫を持たない感受性者への免疫賦与あるいは、免疫の増強効果（ブースター効果）を目的に行われるもの」とされています。具体的に、なぜ予防接種が大切かという、予防接種の役割として、

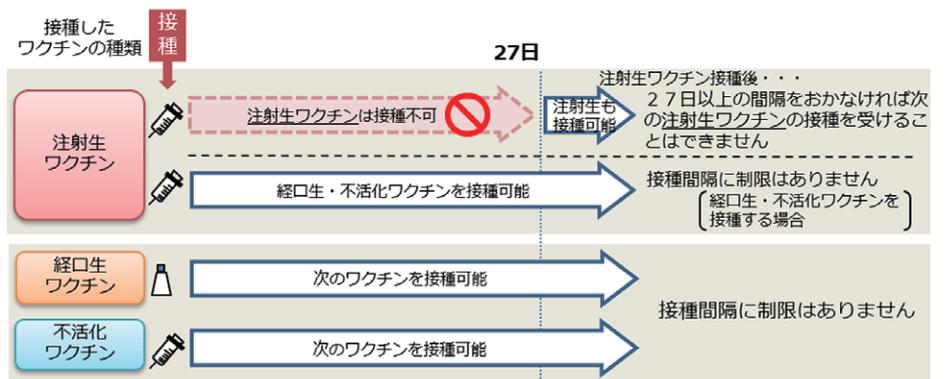
- 1 病原体の感染を予防する
- 2 発病しても重症化する可能性を低く抑える
- 3 感染を広げることを予防する

といった効果があります。ワクチンを接種したお子さん本人だけでなく、一緒に生活する友人や家族全体も守ることもつながります。

しかし、頻度は低いですが、アレルギー反応など接種することによるデメリットもゼロではありません。予防接種に関して不安がある場合には、かかりつけの先生に相談するなどしてみてください。

予防接種の分類にもいろいろありますが、その一つに定期接種、任意接種、海外渡航前の予防接種という分類があります。定期接種は各市町村が主体となって行うもので、各自治体からご家庭に予防接種の案内や問診票が届けられるはずですが、特に新生活で転居された場合など、市町村からのお知らせが届かなかったというケースもありますので注意が必要です。それぞれの予防接種には、理想とされる接種時期や接種間隔、また接種費用補助の期限があります。しかし、医学的な理由がある場合には、費用補助の期限が過ぎていたとしても接種できる場合がありますので、母子手帳を確認して、接種が確認できないワクチンがある場合には、市役所や医療機関で質問してみてください。

## 令和2年10月1日からの「異なる種類のワクチンを接種する際の接種間隔のルール」



## 基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

## 患者さんの権利

- ・ 人格・価値観が尊重される権利
- ・ 良質な医療を受ける権利
- ・ 十分な説明と情報を得る権利
- ・ 自己決定の権利
- ・ 個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式facebook・Instagramを作成しています。一度ご覧ください。

### ホームページ

<https://hamada.hosp.go.jp/>



### facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter/>



浜田医療センター で検索！

### Instagram

[https://www.instagram.com/hamada\\_medical\\_center/](https://www.instagram.com/hamada_medical_center/)



## contents

- 2 予防接種について
- 3 認定看護師の活動について
- 4～5 2024年度浜田地区連絡会総合事故対応訓練
- 6～8 学会発表
- 9 地域医療連携室
- 10 出前講座(BLS)
- 11 研修医だより
- 12 看護学校だより
- 13 公式Instagramを開設しました  
春の特別メニュー
- 14 がん相談支援センターだより
- 15 令和7年度採用看護師・助産師募集
- 16 外来診療担当医表

